

平成30年12月3日

開進三中だより

< 第8号 >

—◆たくましい人◆考える人◆心豊かな人◆助け合う人— 練馬区立開進第三中学校

「社会人になるための準備」

校長 岩尾 幸市

今、3年生と進路の面接練習を行っています。面接を通して一人一人の成長した姿をみることが出来ます。本当に嬉しい時間です。

さて、先日ある企業の方と話す機会がありました。企業が求める新入社員の能力とは何かについて質問しました。その方は次のように答えてくれました。特に「コミュニケーション能力」「協調性」「主体性」の能力を求めているそうです。社会の環境が変化していく、これからの時代を生きていくための必要な力を中学生のうちから準備する必要があります。

(1) 基礎・基本を身につける

変わり続ける世の中で、とても一人では解決できないことが多くなりそうです。ということは、「課題の解決のために、他の人と協力する力」が必要になります。一人一人が持っている得意・不得意分野には違いがあります。自分と違う長所や考えを持っている仲間の存在はプラスに働きます。自分と違うタイプの人だからこそ、認め合い、支え合える関係を築くことを大切にしたいものです。また、各教科の学習から知識や技能などをしっかり身につけることが必要です。そもそも課題の状況を理解し、その解決に向けて他者と協力するためには、基礎・基本の知識や技能が必要となります。

(2) 自分の得意なことをみつけ強みにする

他の人と協力する力や学習の基礎・基本を身につけたうえで、「自分はこれが得意(強み)」だというものを持っておきたいものです。みんなで協力して課題を解決する場面で積極的に自分から行動しやすくなるからです。自分は何が得意なのか。それを知るヒントは学校生活の中にあります。授業が大切ですが他にも、委員会・係活動・行事・部活動などを通して、熱中するものがきっと見つかるはずです。

(3) 自己管理能力を伸ばす

熱中するものから、一生懸命に取り組むことや人間関係を学び、自分の役割をきちんと果たすことを学んでいきます。これは自分を律する「自己管理」を身につけているのです。「自己管理」は社会人として必要なものです。

TPO(時・場所・場合)に応じた、所作・立ち振る舞い、あいさつや返事ができ、時間を守り、敬語が使える、生活のリズムを整え、体力をつけ健康管理ができることです。社会に出る準備として、中学校生活の中で「自己管理(当たり前のこと)」を日々実践し身につけてください。

冬休みを迎える今、自分で「生活時間を計画・実践・管理」することを大切にしたいものです。特に進路を控えた3年生は、家庭学習は無理な計画でなく、毎日着実に出来る計画をこなしていくことで安心感が生まれます。焦らずに努力してください。いつ、何を、どれだけ実行するのかを、各学年に応じて考えて取り組むことで自立への基礎が養われていきます。

[保護者・地域の皆様]

本年も保護者並びに地域の皆様には、本校の教育にご理解とご協力をいただき感謝申し上げます。来年も宜しくお願い申し上げます。

おやじの会部活に挑戦（外部活編）



11月22日土曜日、おやじの会部活に挑戦（外部活編）が実施されました。

まずはサッカー部に挑戦。まだまだ中学生には負けられない。先制したのは中学生でしたが結果は2対2の同点でした。

次に挑戦したのは野球部。5回終了まで1対0でおやじの会がリードしましたが、6回裏中学生が4点を入れ、その後おやじの会も2点いれましたが4対3で中学生が勝利しました。

そしてこの日最後はソフトテニス部に挑戦。男女それぞれのペアに挑戦しました。中学生の技術の高さに圧倒されたおやじの会だったようです。



参加されたおやじの会の皆さま、ありがとうございました。体育館部活と将棋部との対戦は12月8日土曜日に予定されています。

あいさつスマイルクリーン運動

11月20日火曜日から11月30日金曜日まで休日を除く8日間、生徒会美化委員会を中心にあいさつスマイルクリーン運動が行われました。初日は美化委員と生徒会役員、次の日からは3年1, 2組から2クラスずつが担当、最終日は全校の有志が活動しました。今年重点目標は「大きな声であいさつ」、7時45分に集合すると美化委員が分担の説明とあいさつの練習を行いました。多くの生徒と保護者の協力のもと、気持ちよくあいさつを交わしながら落ち葉掃きをしました。

ご協力頂いた保護者の皆さま、ありがとうございました。



税の標語

全国間税会総連合会が募集した「税の標語」において本校2年生の作品が「練馬東間税会入選」に入賞しました。11月28日水曜日に区民・産業プラザ（ココネリ）研修室1で表彰式が行われ表彰を受けました。

入賞作品

「一人ひとり、未来をたくした、消費税」